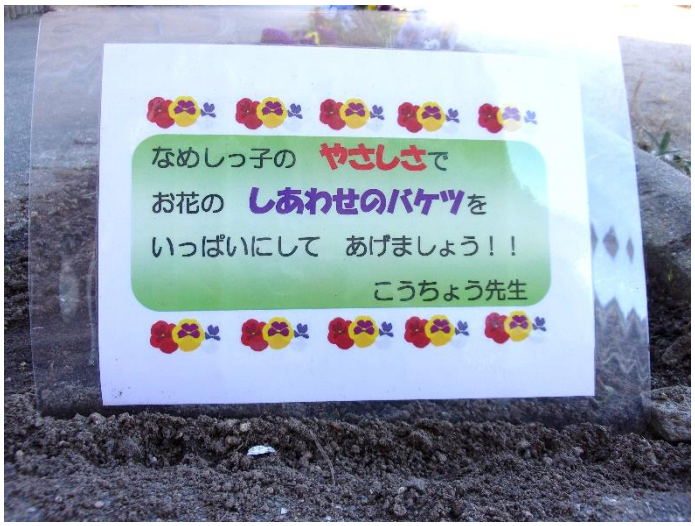
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ33

12月 今日の一言

４．１２．１５　校長　渕上　卓也

お花の「しあわせのバケツ」



私はお花が大好きです。見ているだけで元気になり、笑顔になり、幸せな気分になれる！！自宅でも、猫の額ぐらいの庭ですが、少しばかり「我が子のように」育てています。

滑石小学校でも、四季折々のお花が咲いていますね。校庭を歩きながら楽しんでいる渕上です。お世話してくださっている方々（庁務員さん、学校サポーターさん　等）に感謝です。

でも、時々摘まれて落ちているお花や畑にある足跡を見かける時があるんですよね。優しい滑石っ子なので、悪気があってしたことではないでしょうが、ちょっと寂しく思います。

そこで、写真の札を畑に立ててみました。お花にも命があります。幸せに大きく美しく成長してほしいです。そうなれば、私たちも幸せな気持ちになれるのですが・・・。どうすれば、お花の「しあわせのバケツ」をいっぱいにできるでしょうか？

ちなみに渕上がやっていることは、「毎日様子を見に行く。」こと です。そうすることで、我が子のように愛おしくなってきます。優しい滑石っ子なら、見に行った時に「おはよう。」とか「元気に育て。」とか「きれいだね。」とか、声を掛けてくれるかもしれませんね。

校庭の花々も、大切な滑石小学校の仲間です。お花の「しあわせのバケツ」がいっぱいになれば、私たちの「しあわせのバケツ」もいっぱいになります。私たちに、「元気」や「笑顔」、そして「幸せ」を与えてくれる校庭のお花を、優しい滑石っ子みんなで可愛がっていきましょう！！

＜今日の一句＞

花々も
見守っている
みなさんを　　卓也